

明神小学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ① 主体的に学び、表現できる児童の育成
- ② 主体的に対話的な授業づくりと実践
- ③ 幼小中一貫教育による、系統的・継続的な指導方法の工夫と充実

学力向上検討委員会構成

|         |      |     |
|---------|------|-----|
| 学力向上推進員 | 委員   |     |
| 教務主任    | 校長   | 副校長 |
|         | 研修主任 | 低学年 |
|         | 中学年  | 高学年 |

校長



【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告、等様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題)   | 具体的目標(目指す子供の姿)  | 具体的方策(教員の取組)   | 中間期の見直し  | 達成状況(評価)  | 次年度における改善事項   |
|--|---|--|--|---|---|
| ○朝の活動の時間や授業中など、与えられた課題を解決するために真面目に取り組むことができている。<br>●段落相互の関係や問の意図など、文章を読み取る力に課題がある。 | ・各教科における基礎・基本の力を確実に身につけ、学習や生活の場で活用することができる。<br>・書かれてあることを正確に読み取ることができる。 | ・朝の活動の時間を活用して反復学習やミニテストを行い、基礎・基本の定着を図る。<br>・何が書かれているかを捉えさせるため、音読をさせたり教科書にアンダーラインを入れさせたりするなど、書かれていることを的確に捉えさせる。 | ・苦手教科(分野)やテスト等で思うように点数が取れなかった単元を、宿題や朝の活動の時間を使って反復学習させる。<br>・授業の中で、必要に応じて視覚的な支援を行い、児童の学習理解を深めていく。 | ・隔週月・木曜日や火・金曜日の朝の学習の時間を活用し、プリント学習を実施して、児童の基礎・基本の定着を図った。<br>・教科書の音読や大事なところにアンダーラインを引かせることで、児童の読む力を高めることに努めた。 | ・授業のはじめに、前時の内容を復習する時間を確保し、基礎・基本の定着を図る。<br>・書かれてある内容がきちんと理解できる児童を育成するために、引き続き音読や大事なところにアンダーラインを引かせる。 |

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題)   | 具体的目標(目指す子供の姿)  | 具体的方策(教員の取組)  | 中間期の見直し   | 達成状況(評価)   | 次年度における改善事項  |
|--|---|---|---|--|--|
| ○自分の考えを文章で表現したり発表したりすることができる。<br>●教師や友達の話を最後まで聞けない児童がいる。<br>●自分と友達の意見や複数の資料を比べて、自分の考えを広げていくことに課題がある。 | ・話す・聞くなどの基本的な学習態度を身につけている。<br>・自分の考えについて、理由や根拠とともに表現することができる。<br>・学んだ知識や観察、実験、生活経験、さらには友達の考えなどから判断・思考する材料を見つけることができる。 | ・ペア学習やグループ学習を設定し、ホワイトボードやICTを効果的に活用した発表や話し合い活動をさせる。<br>・「なぜ」、「どうして」などの発問を行うことで、児童の考えを深めさせる。<br>・特別活動における自発的・自治的活動を推進する。 | ・授業中の発表において、自分と友達との意見の共通する部分や違う部分を意識して聞くように声かけしたり、そこから考えや見方が広がったりできるような授業展開を行う。 | ・コロナ禍の状況により、ペア学習やグループ学習を十分に行うことは出来なかった。<br>・児童の発言に、「なぜ」「もう少し詳しく」などの追加発問を意識して行い、児童の思考力や表現力を高めることに努めた。 | ・来年度より導入されるタブレットを活用することにより、学習意欲を高めたり、ペア学習やグループ学習の効果を高めたりしていく。<br>・自分の思いを相手に分かりやすく伝えることができるよう、「話す」「書く」活動を各教科で取り入れる。 |

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題)  | 具体的目標(目指す子供の姿)   | 具体的方策(教員の取組)   | 中間期の見直し   | 達成状況(評価)   | 次年度における改善事項   |
|---|--|--|---|--|---|
| ○得意なことには意欲的に挑戦し、やらなければいけないことは最後までやり遂げることができる。<br>●自主的に学習に取り組むことや苦手な分野はあきらめてしまうことに課題がある。 | ・主体的・対話的な学習活動の中で、自ら課題を見つけ、意欲的に学習に取り組むことができる。<br>・苦手な課題に対して、見通しをもち、計画的に粘り強く学習に取り組むことができる。 | ・家庭学習の手引きを配布することにより、学習の取り組み方を全児童に周知する。<br>・めあてを提示することにより、児童に本時の学習のゴールを明確にし、見通しをもって学習させる。<br>・学校便りや学年便り、懇談などで家庭との連携を図る。 | ・自学自習の力を高めるために、子どもたちが「なぜ?どうして?」と疑問に持ち、分かりたいと思わせるような授業を組み立てる。<br>・「キャリアパスポート」や「すすく瀬戸っ子成長の記録」を活用する。 | ・高学年を中心に、各教科で学習したことを生かした探究学習を取り入れることにより、児童の主体的に学ぼうとする態度の育成に努めた。<br>・教員の声かけにより、前向きに努力して学習に取り組もうとする姿が見られる児童が増えてきた。 | ・児童が意欲的に自主学習に取り組めるよう、「家庭学習の手引き」を見直す。また、各学年に応じて自主学習についての指導を行う。<br>・「キャリアパスポート」と「すすく瀬戸っ子成長の記録」を年間通じて活用する。 |

令和2年度 学力向上ロードマップ

